

科目名	社会福祉演習Ⅲ D					単位	2.0
担当教員	北島 知量						
授業形態	演習	開講期間	前期	配当年次	4	授業番号	3236

●授業のテーマ

発達の違いにどう向き合うか

●到達目標

精神遅滞の実態を知り、各自なりの福祉・教育的支援を考える事ができる。

●学習内容(授業概要)

知的障害者の実態と、その福祉・教育的支援の全体について学ぶ。卒論を書く人には、個別の指導をする。書かない人は、ゼミ論として200字×20枚程度のものを提出してもらう。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 精神遅滞の本質論
2. 遅れをもつ子の心の世界
3. 育ちの遅れと時間
4. イデオサバン
5. 知能検査の諸問題
6. 境界線の知能
7. 障害児の発達支援
8. 障害児と統合教育
9. 特別支援学校
10. 特別支援学校の実際
11. 働く知的障害者と自立
12. 地域作業所
13. 施設における生活支援
14. グループホーム
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前にテキストを読み、その周辺をネットで調べておく・出された課題につき、次回に報告する。

●成績評価方法・基準

課題報告50%、期末レポート50%で評価する。

●テキスト(必携)

『そだちの科学』3

●参考文献／その他
授業時に指示する。

●履修上の注意
担当レポーターが欠席する場合は、必ず代替りのレポーターをたてること。